

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成27年度 技術情報第8号(サツマイモのナカジロシタバ)について (送付)

サツマイモのナカジロシタバについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。本年は天候不良により茎葉の生育が悪く、これから生育回復を期待する時期にナカジロシタバの被害が見られ始めています。防除時期を逸しないように注意して下さい。

平成27年度 技術情報第8号

- 1 対象病害虫** ナカジロシタバ
- 2 対象作物** サツマイモ
- 3 予報内容**
 - (1) 発生地域 県本土
 - (2) 発生時期 早い(トラップ誘殺数増加時期)
 - (3) 発生量 多
- 4 予報の根拠**
 - (1) 糖蜜トラップの誘殺虫数(農業開発総合センター大隅支場)は6月第4半旬から急激に上昇している。例年は8月上旬から増加するが、増加した時期が40日程度早い(図1)。また、5月1日～7月15日までの累積誘殺虫数は1,039頭と過去25年(平均83頭)の中で最も多い。
 - (2) 7月中旬に行った巡回調査では、調査した全てのほ場で被害(総食害面積率5%以上)が認められた。
 - (3) 全ての調査地点で発生程度が中以上のほ場が認められた(表1)。ほ場内で死亡虫などが認められ、既に防除が実施されたほ場もあったが、多くのほ場で生存虫が確認された。このようなほ場では、7月下旬～8月にかけて被害が急速に進展することが懸念される。
- 5 防除上注意すべき事項**
 - (1) 本葉の被害が軽微な場合でも、未展開葉の被害(写真1)が認められる場合には、若齢幼虫が発生していると考えられる。幼虫生育に伴い食害は増加し、薬剤の効果が低下する。老齢幼虫が多くなると食害の進展が急速に進むため、防除時期を逸しないように注意する。

(参考資料)

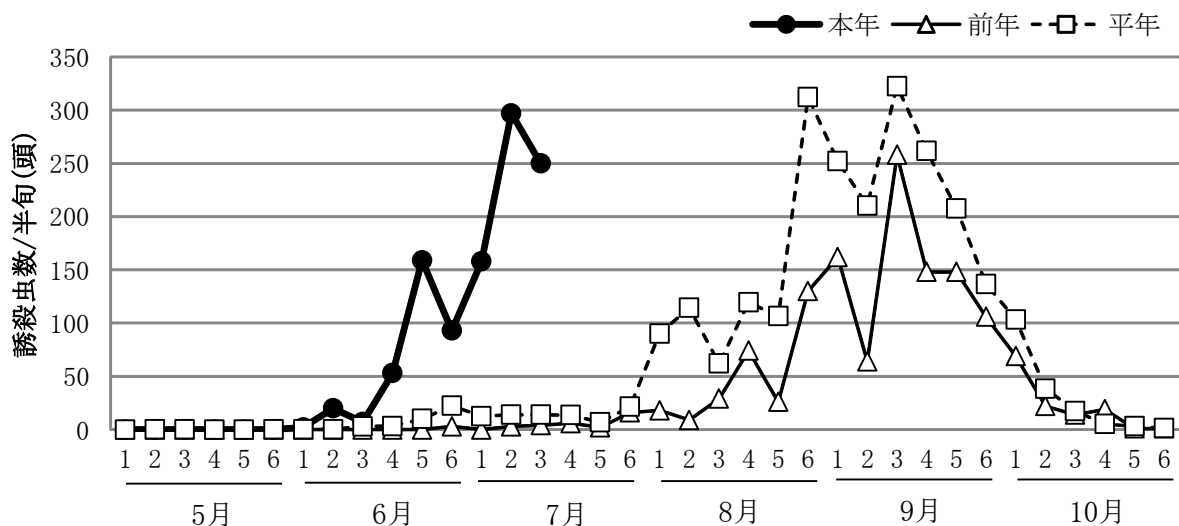


図1 ナカジロシタバの発消長
 調査場所：農業開発総合センター大隅支場（糖蜜トラップ）
 半月毎に集計（グラフはホームページで公開中）

表1 サツマイモほ場におけるナカジロシタバの被害状況（巡回調査）

調査地点	調査数	発生程度別ほ場数				
		甚	多	中	少	無
指宿市開聞	5	0	1	0	4	0
枕崎市別府	5	0	1	2	2	0
南九州市穎娃青戸	5	0	1	2	2	0
鹿屋市旭原町	5	0	0	1	4	0
鹿屋市串良町細山田	5	0	0	1	4	0
曾於市大隅町月野	5	0	0	2	3	0
曾於市末吉町深川	5	0	0	3	2	0

調査時期：平成27年 7月15～17日

発生程度は総食害面積率でランク付けした。

（甚：76%以上，多：51～75%，中：26～50%，少：6～25%，無：0～5%）



写真1 サツマイモ未展開葉のナカジロシタバの食害
 本葉に被害がなくても，若齢幼虫が発生していると思われる。